

志井ファミリープールへの民間活力導入に関する マーケットサウンディング調査の結果概要

志井ファミリープールへの民間活力導入に関するマーケットサウンディング調査の結果を
取りまとめましたので、概要を公表いたします。

1 調査概要

(1) 募集の経緯

志井ファミリープール(アドベンチャープール)は、年間約 10 万人が来場する人気施設
ですが、開設から 35 年以上が経過し、施設等の老朽化対策が必要となっていることから、
民間活力導入による再整備検討のため、マーケットサウンディング調査を実施致しました。

前回(令和元年度実施)のマーケットサウンディング調査では、現プールエリアでの民間
資金活用を前提とした一括再整備は、資金回収の目途が立たないため難しい等のご意見
を頂きました。

今回のマーケットサウンディング調査は、周辺用地との一体利用のほか、市による部分
整備を含めたプールの再整備・運営についてもご意見を頂戴し、今後の再整備に向けての
条件整理を行うことを目的に実施したものです。

(2) マーケットサウンディングの参加者

実施事項	事業者数
個別対話 及び 提案書提出	全 7 事業者

2 調査結果の概要

個別対話及び提案書提出により、参加者から以下のような意見がありました。

(主な事業者の意見)

民間負担による一括再整備について
<ul style="list-style-type: none">・民間負担による一括再整備・運営は、資金回収の目途が立たないため困難である。・再整備手法は公共負担での施設整備、指定管理者制度での運営が考えられる。・周辺用地との一体利用は困難である。
【通年利用について】
<ul style="list-style-type: none">・通年利用による収益性確保のためには、駐車場の導入は必須である。・現プール形状では平場が少なく、通年利用の活用手段が限られる。
部分的な民間活力導入について
<ul style="list-style-type: none">・部分的な民間活力導入は可能であるが、市による大部分の施設整備が必要である。
【仮設プールの導入について】
<ul style="list-style-type: none">・市の施設整備も仮設プールであれば、費用を安価に抑えることが可能。・プールを仮設化し、平場を確保することで通年利用は検討できる。

3 今後の予定

事業者の皆様より頂いた意見を参考に、今後の整備方針検討を行います。